

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	都市部 都市政策課
評価シート作成者	課長 大谷 篤

評価対象施策目標（=課かい目標） **37 住みやすく住み続けたいまちをつくる**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	4 人々が行きかい 自然と共生する便利で快適な まちづくり
②政策目標	10 魅力にあふれ住み続けたいまち
③施策目標	37 住みやすく住み続けたいまちをつくる
④施策の方向性	1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築 2 鉄道輸送力の増強 3 防災体制の構築 4 住環境整備の調査・研究

2. 施策目標の達成方針

誰もが、どの時代にあっても、市民が住み続けたいと思えるためには、その時代の社会経済情勢の変化に応じたまちをつくる必要があります。これまで人口増加に伴い、まちは拡大してきました。今後、人口減少が進み、まちは縮小するものと考えられます。縮小あるいは集約化にあたり、秩序あるものとするため、都市マスタープランにおいて、まちづくりの方向性を定めるとともに、住宅都市である本市にあった住宅・住環境を整えていきます。加えて、超高齢社会、環境負荷の少ないまちづくりを進めるため、車から公共交通（鉄道、バス、タクシー）への転換を図るため、公共交通体系を構築し、また自転車や歩行者を優先したまちづくりを進めます。さらに大規模地震に備え、まちづくりの視点から防災体制を進めることを目指します。以上、住み続けたいまちをつくるため、超高齢社会、人口減少、環境負荷の低減、防災は、今後のまちづくりの要点と考え、施策の方向性として、4つの方向性を軸に施策を進めていきます。

■集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築：環境負荷の低減や高齢者、障害者等の移動円滑化などを図り、人と環境にやさしい交通のまちを実現するため、「ちがさき自転車プラン」や「琴ヶ崎市乗合交通整備計画」に位置づけられたコミュニティバスや路線バスの充実を図ります。

■鉄道輸送力の増強：鉄道輸送計画の改善、駅施設整備など鉄道輸送力の増強促進に向け、県及び県内市町村と連携を図りながら鉄道輸送力の研究や事業者等への要望活動などを継続的に実施します。

■防災体制の構築：東北地方太平洋沖地震など大規模地震が頻発していることを踏まえ、災害に強い都市づくりを推進していく必要があります。地域危険度測定調査など災害に対する危険性の分析、地域住民が主体となって進められる防災都市づくりを推進します。また、大規模地震後の復興に備え、復興イメージトレーニング等の事前復興対策を進めていきます。

■住環境整備の調査・研究：良質な住環境整備を進めるため、必要な支援や法制度の導入にむけた調査研究を行い、住宅政策などの方向性を明確にします。

3. 職員配置の状況

(24年3月31日現在)

No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1	—	課長	8年 0月	16			年 月
2	都市政策担当	主幹	2年 月	17			年 月
3	交通計画担当	課長補佐	3年 月	18			年 月
4	交通計画担当	副主査	年 9月	19			年 月
5	都市政策担当	副主査	3年 月	20			年 月
6	交通計画担当	主任	1年 月	21			年 月
7	交通計画担当	主事	2年 月	22			年 月
8	都市政策担当	主事	1年 6月	23			年 月
9			年 月	24			年 月
10			年 月	25			年 月
11			年 月	26			年 月
12			年 月	27			年 月
13			年 月	28			年 月
14			年 月	29			年 月
15			年 月	30			年 月

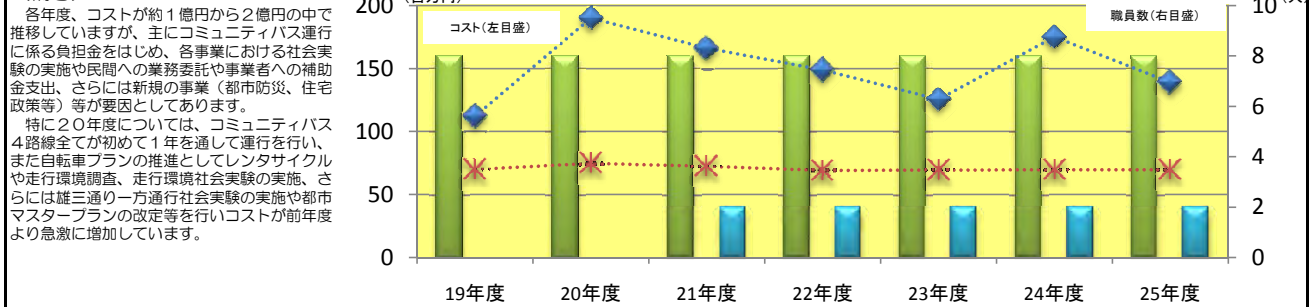
職員数計 8名（うち常勤 8名・再任用 名）外 非常勤嘱託 名・臨時 2名・その他（名）

4. 施策推進コスト

(単位：事業、職員1人 千円/職員数 人)

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	182,140	264,914	238,779	218,282	195,016	244,728	208,727
財源							
特定国庫支出金	7,800	19,367	7,920	1,000	4,250		
地方債							
内源							
その他	4,950	3,840	3,120	3,120	3,520	4,680	5,123
一般財源	99,398	241,707	227,739	214,162	187,246	240,048	203,604
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ)	112,148	190,163	166,353	149,091	125,586	175,117	139,116
うち委託料	37,340	67,530	32,374	10,410	12,869	41,578	22,410
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ)	69,992	74,751	72,426	69,191	69,430	69,611	69,611
常勤職員数 (棒グラフ左)	8	8	8	8	8	8	8
再任用職員数 (棒グラフ中)							
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)			2	2	2	2	2

(備考)



5. 施策目標の達成状況

No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	平成21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	実績値	見込値	目標値	実績値	見込値	目標値
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	年間公共交通利用回数 =鉄道・路線バス及びコミュ ニティバスの利用者/年度人 □	回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			401.5	400.1	407.3	415.7	420.5	420.5	420.5	420.5	420.5	420.5
			—	—	30.5%	74.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

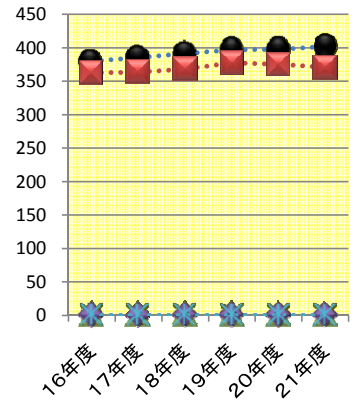
(指標の他団体比較)

(出所)

団体名\年度	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
●茅ヶ崎市	379.9	385.5	391.4	396.8	397.1	401.5
■神奈川県	362.5	363.5	368.3	377.5	375.4	370.8
*						

(指標の進捗状況分析)

平成16年度以降、値はゆるやかに増加（前年度と比較し概ね1.0%前後の伸び率）しています。  
今後、高齢化の進展により、車から公共交通への転換等により利用者は増加するものと見込まれます。  
なお、23年度実績値は、確定まで時間を要することから見込値を入力しています。



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No. 事業名(会計区分)	指標名	指標値				
		平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
事業概要	事業費	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	目標値	—	—	目標値	目標値	目標値
	実績値	現状値	実績値	実績値	—	—
	達成率	—	—	達成率	—	—
1 都市防災推進事業(一般会計)	都市防災の推進	決 5,170	決 3,871	決 3,001	予 6,700	評 9,940
市民と協働で防災都市づくりワークショップを開催する。ワークショップの中で、地域の防災上の課題について、地域がどのような体制で取り組むべきかを検証し、地域主体の防災都市づくりの仕組みを構築していくとともに、行政の役割についても確認します。併せて市内にて復興イメージトレーニングを実施します。		—	—	ワークショップ等支援	ワークショップ等支援	地域危険度調査、ワークショップ等支援
		ワークショップ等実施	ワークショップ等支援	ワークショップ等支援	—	—
		—	—	—	—	—
2 茅ヶ崎市地域公共交通会議の推進(一般会計)	茅ヶ崎市地域公共交通会議の開催回数	決 0	決 0	決 3,224	予 3,441	評 3,570
学識者や交通事業者、市民等で構成した茅ヶ崎市地域公共交通会議の中で、地域の実情に応じたバス運行や計画などについて協議し、市民生活に必要な移動手段の確保及び公共交通の利便性向上を図ります。		—	—	1	2	2
		—	—	1	—	—
		—	—	100.0%	—	—
3 コミュニティバス運行事業(一般会計)	コミュニティバス利用者数	決 117,639	決 125,308	決 106,545	予 114,211	評 113,686
各路線の運行改善を行いつつ、市民からの要望の多い地区への乗り入れや、平成14年3月策定の「茅ヶ崎市乗合交通整備計画」の見直しなどにも着手し、市内全体での支線としての体系をより完成度の高いものとする。また、コミュニティバスを使用したイベントなども実施し、利用促進を図ります。		人 333,641	390,679	470,000	410,000	455,000
		—	—	370,000	—	—
		—	—	108.4%	—	—
4 住環境整備事業の調査・研究(一般会計)	住宅政策の方向性の明確化	決 0	決 0	決 4,903	予 4,922	評 20
多様化する居住ニーズを世代ごとに捉え、既存ストックの住宅活用ができるような制度の導入のための調査研究を行い、住宅政策の方向性を明確化します。また、本市の住宅に係る支援制度などを整理し、活用できるよう誘導を図ります。		—	—	調査・研究	調査・研究	調査・研究
		—	—	調査・研究	—	—
		—	—	—	—	—
5 ちがさき自転車プラン推進事業(一般会計)	推進連絡協議会の開催回数	決 10,066	決 2,555	決 2,108	予 6,650	評 2,404
ちがさき自転車プランに位置づけられた22の施策について、市民、事業者と連携を図り、プランの理想像である「人と環境にやさしい自転車のまち茅ヶ崎」の実現にむけ事業を推進します。		回 3	2	2	2	2
		—	—	2	—	—
		—	—	100.0%	—	—

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

① 施策目標達成に向けた指標の進捗状況	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 大きく遅れている
② これまでの取り組みと成果	<p>25年度目標値達成可能 25年度目標値達成困難</p> <p>施策目標達成のため、4つの施策の方向に基づき、市民、事業者、学識経験者等と協働しながら、それぞれの事業を進めてきました。この結果、平成25年度目標値に向け、徐々にではありますが市民の公共交通の利用回数が増加しています。</p> <p>■集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築 高齢化等への対応、車から公共交通・自転車利用促進など環境への配慮として、コミュニティバスの運行、自転車走行環境調査や自転車専用レーンの設置等に向けた調査・研究を進めてきました。</p> <p>■鉄道輸送力の増強 これまで、神奈川県・県内市町村から構成される協議会を通じて、利用者の利便性向上にむけて茅ヶ崎駅ホームの拡幅や、相模線複線化等駅施設の改善や輸送力増強等についてJRや国に対し要望してきました。平成24年度に茅ヶ崎駅ホーム改良調査等を実施します。</p> <p>■防災体制の構築 平成20年度に地域危険度測定調査を実施し、同調査に基づき、平成21～23年度に市内3地区で防災都市づくりワークショップを実施しました。また、復興体制構築(復興準備)のため、復興イメージトレーニングを平成22年度より開催しています。</p> <p>■住環境整備の調査・研究 「量」より「質」へと住宅政策の方向が移行する中、戸建住宅及び集合住宅の居住環境の分析を行い、また居住ニーズを把握するため、市民に住宅・住環境に関するヒアリング等を実施してきた。今後は、住宅の既存ストックの活用方策等の検討を進めていきます。</p>
③ 課題認識と解決への方策	<p>施策目標や4つの施策の方向は、超高齢社会、人口減少、低炭素社会など、今後のまちづくりに特に重要な視点を踏まえたものです。したがって、施策目標達成のため、本市の地域特性を踏まえつつ、市民、事業者、学識経験者等と協働しながら、それぞれの事業を進める必要があります。以下、課題と方策です。</p> <p>■集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築及び鉄道輸送力の増強 利用しやすい公共交通体系実現のため、利用状況や市民の需要を十分に把握し、茅ヶ崎市地域公共交通会議の中で関係者と合意形成を図りながら、平成24年度にコミュニティバスの運行改善を行います。また地域のニーズに見合った交通手段の構築していくため、コミュニティバスとそれ以外の交通システム(デマンド型交通や乗合タクシー等)の効果的な組み合わせによる運行システムの導入など新たな公共交通施策の検討を進めていきます。</p> <p>自転車に関する取り組みとして、ちがさき自転車プランの将来像である人と環境にやさしい自転車のまちを目指し、市民、事業者、行政が協働してプランに位置づけられた施策を推進します。</p> <p>また鉄道については、特に茅ヶ崎駅東海道線ホームが狭く駅利用者が大変危険な状況であり、利用者の安全性、利便性の向上を図るため東海道線ホームの拡幅実現にむけ、事業者や国と協議を進めてまいります。</p> <p>■防災体制の構築 東日本大震災の発生後、防災体制構築が急務となっています。本市は昭和54年に東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されており、特に同震災や阪神・淡路大震災の教訓も踏まえ、災害に強い都市づくりを推進していくことが必要であり、応急～復興を円滑に進めるためには、行政のみならず、「自助(個人)」・「共助(地域)」による積極的な取組が重要です。これまで実施してきました地域災害危険度調査や「防災都市づくりワークショップ」の成果を踏まえ、本年度より地域住民が主体となって持続的に防災に取り組む環境が整えることができるように、市民との協働により必要な仕組みや制度等を検討していきます。</p> <p>■住環境整備の調査・研究 住宅都市である本市においては、住宅・住環境を整えることが極めて重要であると考えています。高齢化・人口減少社会をふまえ、多様化する居住ニーズを世代ごとに捉え、既存ストックの住宅活用ができるよう必要な支援策や法制度導入等の検討を引き続き実施し、本市の住宅のあり方について明確にしていきます。</p> <p>また、平成20年6月に改定した「ちがさき都市マスタープラン」が5年経過することから、これらを位置付ける等の一部見直しを行います。</p>
④ 議会等からの指摘・要望事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの運行改善(平成23年第4回定例会)</li> <li>・防災都市づくりのさらなる促進(平成23年第4回定例会)</li> <li>・茅ヶ崎駅ホーム拡幅の実現(平成23年第4回定例会)</li> <li>・高齢化・人口減少等へ対応したまちづくり・住環境整備(平成23年第2回定例会)</li> </ul>

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)

167,090	150,032	126,128	175,117	139,116
---------	---------	---------	---------	---------

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	4	まちづくり手法の調査、研究		171	285	120	220	225
2	一般会計	2	ツインシティ整備・東海道新幹線新駅設置促進事業	重点事業	200	200	180	180	180
3	一般会計	2	JR東海道本線の貨物線旅客線化の促進	重点事業	0	0	0	0	0
4	一般会計	2	JR相模線の各私鉄との相互乗り入れ要請	重点事業	0	0	0	0	0
5	一般会計	2	JR茅ヶ崎駅ホームの拡幅要請	重点事業	0	0	0	0	0
6	一般会計	2	(仮称)西久保駅の設置要請	重点事業	29	29	20	20	29
7	一般会計	2	JR相模線の複線化の整備推進	重点事業	100	100	100	100	100
8	一般会計	2	JR相模線北茅ヶ崎駅整備事業	重点事業	0	0	0	0	0
9	一般会計	2	東海道線ホームの調査設計	重点事業	0	0	0	13,356	0
10	一般会計	4	住環境整備事業の調査、研究	重点事業	20	20	4,903	4,922	20
11	一般会計	4	中心市街地活性化事業	重点事業	0	0	0	0	0
12	一般会計	4	都市マスタープランの進行管理、見直し	重点事業	140	342	256	598	597
13	一般会計	3	都市防災推進事業	重点事業	5,170	3,871	3,001	6,700	9,940
14	一般会計	3	液状化予測図作成事業	重点事業	0	0	0	10,000	0
15	一般会計	4	バリアフリー基本構想策定	重点事業	0	0	0	0	5,000
16	一般会計	1	市内主要幹線道路等交通量調査	重点事業	7,718	0	0	8,000	0
17	一般会計	1	(仮称)茅ヶ崎市地域公共交通会議の推進	重点事業	0	0	3,224	3,570	3,570
18	一般会計	1	茅ヶ崎市乗合交通整備計画推進事業(ノンステップバス導入促進)	重点事業	19,000	5,700	1,766	1,900	1,900
19	一般会計	1	コミュニティバス運行事業	重点事業	117,639	125,308	106,545	114,211	113,686
20	一般会計	1	ちがさき自転車プラン推進事業	重点事業	10,066	2,555	2,108	6,650	2,404
21	一般会計	1	ちがさき自転車プラン推進事業(サイクルアンドバスライド)	重点事業	0	0	0	0	0
22	一般会計	1	ちがさき自転車プラン推進事業(自転車走行環境調査)	重点事業	4,190	1,995	0	2,500	0
23	一般会計		庁内共通事務		683	1,227	1,535	2,190	1,465
24	一般会計	1	コミュニティバス啓発事業				2,370		
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
			振り分け不能額						
			小計(イ)		165,126	141,632	126,128	175,117	139,116

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	茅ヶ崎停車場茅ヶ崎線(碓三通り)の整備促進	1,964	0	—	—	—
2	一般会計	バスロケーションシステム車載器設置補助	0	8,400	—	—	—
3					—	—	—
4					—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7					—	—	—
8					—	—	—
9					—	—	—
10					—	—	—
11					—	—	—
12					—	—	—
13					—	—	—
14					—	—	—
15					—	—	—
		小計(ウ)	1,964	8,400	—	—	—

(備考)

平成22年度以前と23年度以降では、事業分類が異なることから、22年度以前について個別の事業に振り分けられない決算額を「振り分け不能額」として記入しています。